

## 日本原子力学会 核燃料部会

### 平成 24 年度 第 1 回運営小委員会議事録

日時 : 平成 24 年 5 月 29 日 (火) 13:30~15:30

場所 : 日本原子力学会事務局 会議室

出席者 : (委員以下は 50 音順)

岩田部会長、安部田副部会長、池田委員、宇埜委員、逢坂委員、太田委員、大江委員 (逢坂代理)、木下委員、草ヶ谷委員、武田委員 (藤塚代理)、平井委員、更田委員、真寄委員、松浦委員 (菊池代理)、若松委員、北嶋[記] (16 名出席)

#### 議事

##### 1. 前回運営小委員会および総会議事録案確認

北嶋庶務幹事から、前回第 4 回運営小委員会議事録 (資料 No.1-1) の提示があった。前回運営小委員会終了後、メールにてすでに了承済みであるため、内容の説明は省略した。

##### 2. 平成 24 年度核燃料部会運営体制について

北嶋庶務幹事から資料 No. 1-2-1 により、メールによる全体会議で 4/26 付けで承認された運営体制を紹介。合わせて、資料 No. 1-2-2 により、平成 24 年度業務分担 (案) を説明し、了解された。

##### 3. 状況報告等

北嶋庶務幹事から資料 No. 1-3-1 により、前回運営小委員会以降の運営小委員会活動状況の報告があった。また、各担当委員より、以下のとおり個別件名の報告、及び提案があった。

3-1 企画小委員会からの報告[安部田副部会長] 資料配布省略

- ・ 4/19 開催の第一回企画小委員会の状況説明があった。

3-2 核燃料部会報進捗報告[藤塚代理] 資料 No. 1-3-2

- ・ 編集作業、HP 掲載手続きともに完了した旨報告があった。
- ・ 岩田部会長より、部会員からの反響も不活発な現状に懸念が示された。部会報をプラットフォームとして活用し、インタラクティブな意見交流が行えるような仕組みを検討するよう指示があった。

3-3 平成 24 年度核燃料夏期セミナー[逢坂代理] 資料 No. 1-3-3

- ・ 現在の準備状況の報告が行われ、大石先生 (元京大) のセミナー招待にかかる、旅費、及び宿泊費負担、セミナー参加費等について提案があり、以下のとおり核燃料部会として負担することで承認された。また、負担は、セミナー運営費から拠出することで承認された。

旅費 : 全額負担する。宿泊費 : 1 万円 / 泊までを負担する。

セミナー参加費 : いただかない。

謝礼金 : 情報交換会挨拶料として 1 万円をお渡しする。

- ・ なお、大石先生以外の 2 名の先生に対しては、負担しないこととされた。

3-4 WRFPM2014 準備状況[安部田副部長]

資料配布省略

- ・組織委員会設立状況、会場選定状況について報告があった。仙台国際センターを第一候補として考えているとの説明があった。
- ・第一回組織委員会は平成 24 年 6 月 20 日開催で準備が進められているとのことであった。

3-5 秋の企画セッション[木下委員]

資料配布省略

- ・「横断的に見た核燃料サイクルの課題（仮題）」をセッションテーマとして、学会本部に提出し、承認済みであるが、バックエンド課題が急務であることから、タイトルは再考中との報告があった。
- ・岩田部会長より、議論の結果がアクションにつながるように、課題のプライオリティー付けを議論しなおす必要があるとの問題提起があった。

3-6 平成 23 年度の活動報告[安部田副部長]

資料配布省略

- ・学会本部に提出したことの報告があった。活動報告書は、すでにメールにて運営小委員に配布済み。

4. 「要領」、「申し合せ」の改定について

逢坂代理から資料 No. 1-4-1、1-4-2 に基づき、

「夏期セミナー招待条件申し合せ」の制定、及び「核燃料部会の夏期セミナー開催要領」の改定について提案があり、審議の結果承認された。

なお、「核燃料部会の夏期セミナー開催要領」は、核燃料部会全体会議にて承認されるものであることから、本日の審議結果を以って、速やかにメール審議にかけることとされた。

5. 規約、要領等の管理について

安部田副部長から資料 No. 1-5 に基づき、核燃料部会の規約・内規等の承認・管理について、承認レベル、管理分担等の提案があった。

本提案に基づいて、今後適切な管理運用を図ることとされた。

6. 平成 23 年度収支実績と平成 24 年度予算の確認予算について

北嶋庶務幹事から、平成 23 年度収支実績と平成 24 年度予算の説明があった。平成 24 年度本部配布金額が昨年度と比べて減少している点について質問があった。本部配布金算定のベースとなる部会員数も減少しておらず、理由が不明確なことから、減額理由について確認することとなった。

【学会事務局への確認結果】本部配布金算定に用いる部会員数は、444 名から 450 名に増加してきているものの、平成 24 年度は部会員数に単純比例の算定額であり、増額調整は行われなかったこと、及び 10%削減が開始されたことにより、部会員数増加にも係わらず、本部配布金は平成 23 年度に比べて減額した。

7. その他

安部田副部長から口頭にて、本日午前中に開催された燃料高度化ロードマップ幹事会において、3. 11 の震災を踏まえて本ロードマップの見直しを進めることになり、ドラフトを作成して主査の関村先生のご意見を伺うことになったとの状況報告があった。

また、議題 3-5 において、秋の大会時の企画セッションのプログラムの見直しについて、佐藤先生、高木先生らと議論を進めている旨木下国内企画幹事から説明があったが、次回 6 月 18 日に予定されている企画小委にて検討し、その結果を運営小委に報告する予定であることについて、安部田副部長より補足があった。

岩田部会長から、原子力政策論議に加わった人たちへ、昨今、批判的な報道がなされたことに鑑み、原子力学会が原子力委員会に対して意見を出す役割を果たすべきとの意見があった。

委員からは、原子力学会としては、現状、SAMG (Severe Accident Management Guideline) 検討において主体的な役割を果たしているものの、課題がシビアアクシデントに偏っており、正常な状態での安全性が注目されなくなっていることへの懸念が示された。

#### 8. 第二回運営小委員会の開催日程について

北嶋庶務幹事から次回開催日の設定について提案があった。秋の大会（平成 24 年 9 月 19 日～21 日、於広島大学東広島キャンパス）に合わせて現地開催とすることで了解されたが、プログラム日程の確定を見て、開催日は別途設定することとされた。

以 上